

予算審査特別委員会

委員長 佐々木 久昭
副委員長 秋葉 忠雄

分科会での主な質疑をご紹介します。

総務分科会

(所管) 総務局・総合政策局・財政局・会計室・選挙管理委員会・人事委員会・監査委員・議会

市有財産の売却の判断は

問 歳入確保策としての、市有財産の売却はどのような過程を経て決定しているのか。

答 学校用地のような大規模な土地は、市民の意見を聞きながら方針を決める。小規模な未利用地等は、年2回調査を行い、今後の利用計画を考慮した上で売却処分が妥当な土地を洗い出している。売却に支障がないことなどを確認した後、内部の委員会での判断を経て、一般競争入札により売却している。

市職員の人材育成は

問 人材育成の課題をどのように捉えて、職員研修を計画しているのか。

答 地方分権が進む中、地方公共団体の役割がますます重要になってきていることから、研修を通じて個々の能力を高めることが重要だと考える。新年度からは、国際化対応能力、接客能力、障害者対応能力、地域活性化の4つを柱に、研修を充実させていく。



市職員研修の様子

保健消防分科会

(所管) 保健福祉局・消防局・病院局

健康づくりに関する新たな指針策定の目的は

問 本市の健康づくりの方針は「健やか未来都市ちばプラン」で定めているが、新たに健康づくり施策の指針を策定する理由は。

答 ちばプランには健康施策を網羅的に収めており、市民への周知・啓発に有益ではあるが、個別の施策をいつ、どのように取り組むかなどと考える際には、具体的な行動計画が必要となるため、その指針を策定するものである。

両市立病院のシステム統合の効果は

問 平成33年から両市立病院の病院情報システムを統合することによるコスト削減効果は。

答 平成33年度から37年度の経費について、現行のシステムを継続した場合とシステムを統合した場合を比較すると、約2億3,000万円のコスト削減が見込まれる。今後、現行業務の分析を経て、業務改善を行い、新たなシステムの内容を具体的に計画していく段階で、さらなる削減に努める。



本市の健康増進・母子保健についての計画「健やか未来都市ちばプラン」

環境経済分科会

(所管) 市民局・環境局・経済農政局・農業委員会

地域運営委員会設立への課題は

問 住民同士の助け合いや支えあいによる地域運営を進める地域運営委員会の設立が進まない理由は。

答 地域の活動が十分活発なことや、現状の活動で手一杯であること、地域の各団体が簡単に集まれないことなどが課題である。人口減少や高齢化など、10年先を見据え、地域で顔の見える関係づくりを進められるよう、各地区に説明していきたい。



地域運営委員会主催で地域の清掃活動を実施

産業用地確保では各種機関との連携を視野に

問 産業用地を確保するにあたっては国家中枢機能の誘致や大学との連動も視野に入れるべきと考えるが、市の課題認識は。

答 枯渇する産業用地の確保のためには、東京オリンピックまでの設備投資需要を取り込むべく、早期で方向性を示せるよう、立地ニーズや最適な整備手法を調査している。国家機関の移転は、地方への移転が中心となる中で困難であるが、ITや健康分野の研究施設については、大学や県と連携しながら誘致するのが望ましいと考える。

教育未来分科会

(所管) こども未来局・教育委員会

子どもルームの指導員の待遇改善を

問 子どもルームの指導員の待遇を改善しなければ、指導員の慢性的な不足や保育の質が低下する一方ではないか。

答 賃金水準は、近隣市、政令市との比較において、一定の水準を満たしているが、今後も雇用環境、賃金水準を注視していきたい。指導員の資質向上については、研修の充実を図っていきたい。

放課後子ども教室のプログラム内容は

問 放課後の小学生の安全・安心な居場所づくりのための「放課後子ども教室」のプログラムの具体的な内容は。

答 市内大学の留学生との交流で、異文化への興味を持たせる、自分たちでイベントを企画することで起業などについて考えさせる、企業の人との交流から、様々な職業についての興味を持たせるなどのほか、勉強意欲を持つきっかけにつなげるものにしたい。



地域の方による将棋教室

都市建設分科会

(所管) 都市局・建設局・水道局

公園の遊具の整備は

問 身近な公園における老朽化した遊具の交換など、公園施設の維持管理の方針は。

答 遊具は、長寿命化計画に基づき適時改修を行っており、高齢化が進んでいる状況では子供用の遊具から健康遊具への変更も視野に入れ、地元の意見を重視しながら進めている。遊具以外の公園施設についても、今後、長寿命化計画の策定を進めていく。

自転車レーンの走行ルールの周知を

問 自転車レーンの整備が進んでいる中で、走行ルールが分からず、混乱する声もあるが、周知はどのように行っているのか。



整備された自転車レーン

答 自転車レーンを整備する際に、自転車レーンの通行方法などが書かれたお知らせを周辺の自治会、高校、トラック協会等に配布した。また、市民に広く周知するため、市政だよりにも、自転車レーンの通行方法や交通ルールなど、自転車の正しい走り方に関する記事を掲載した。